

委員から事前に寄せられた質問とその回答

No.	該当資料 ページ	質問・意見等 【記入者】	回答等 【記入者】
1	資料 1 1 ページ	【南雲純子委員】 「1-1 グリーンシーズン、全天候型のプログラムの造成」 主体が観光事業者だが、湯沢町の観光戦略として資料に まとまっているため、観光事業者からの報告があってもよ いと思う。今後、そういった記載をする予定はあるか。 【意見】 今年の秋に町民券を利用して湯沢高原に行ってみた。 雨でも遊べる鉱石探しなどのアクティビティを社員が発 案、イベントを継続して行っており、お客様の満足度も 高く良い取り組みだと思った。アルプの里に関しては、 湯沢町民がグリーンシーズン毎月利用できる機会があり ながらほとんどの人が利用していないのでもったいない と思う。 KPI のなかで、「観光客におもてなしの心で接している 町民の割合」というのがあるが、観光客に観光スポット を聞かれても「湯沢には何もないよ」と答えてしまう町 民の割合を減らすことも重要で、町民に湯沢の価値や魅 力をもっと力をもっと理解してもらう必要があると考える。	【湯沢町】 今後、可能な限り事業者の取組について共有させていただきます。 【湯沢町観光まちづくり機構】 町民に湯沢の価値や魅力をもっと理解してもらうことにつ いては、令和 3 年度から広報ゆざわに「DMO 通信室」というペ ージを設け、各種情報を発信しています。また、現在、観光が 町民の暮らしや産業、経済などにどのように関わっているかを まとめた「(仮称) 観光と私たちの暮らし」を作成中です。観光 が町民の暮らしに及ぼす効果を認識してもらうことが目的で す。

2	資料 1 2 ページ	【南雲純子委員】 <u>「1-2 ガイド組織の構築 前期」</u> 2022 年～2024 年の 2 年をかけてガイド組織の構築に動きがないことが残念。できなかった理由と解決方法のところでできなかった理由の記載がない。 人手不足なのか、知識不足なのか、連携不足なのか、人事や組織的な問題か、必要性を感じていないのか、業務が多すぎて時間がないのか、優先順位が低いのか。原因がわからないと対策ができない。 SNS 等の情報で拾える範囲でも町内で活動している山系ガイドは数名いらっしゃる、ピックアップとヒアリングはすぐにできると思うので、スケジュールを立ててしっかり行うとよい。 令和 7 年度にやることが、具体的な協議を始めるということなので、まだまだ時間がかかりそうなニュアンスに聞こえる。	【湯沢町観光まちづくり機構】 ガイド組織の構築については、必要な事業として認識しているが、職員の離職等により、現時点では本事業に取り組むだけの余力が無かったのが現状です。事務局職員の補充なども進めており、新年度の向けては動き出しができるように体制を整えていきます。
3	資料 1 4 ページ	【南雲純子委員】 <u>「1-4 温泉魅力の掘り起こしと温泉資源のさらなる活用」</u> 実施時期の途中ではあるが、観光事業者が主導的に実施とあるだけで進捗が見えない。実際に各事業者では動きがあるので、表記頂くとよいと思う。	【湯沢町】 今後、可能な限り事業者の取組について共有させていただきます。
4	資料 1 5 ページ	【南雲純子委員】 <u>「1-5 湯沢町ならではの食・特産品の魅力づくり」</u> 【意見】 ・補足でイベント入込数の記載があり、数字を出すことはとても大切でよいと思う。目標値・実績を経ての評価になるとさらに良い。	【湯沢町観光まちづくり機構】 イベント入込数については、今後、目標値についても資料内に記載するようにします。 特産品の開発については、各エリアと農産品や加工品等のブランド化に向けた協議を進めつつ、地元生産者との連携強化については、今年度、酒米・水・醸造をオール湯沢で実現した日

		・雪国観光圏で食のブランド化推進ワーキングというのがあり座長の岩佐さんを主に食の勉強会なども開催している。南魚沼では小玉屋が6次化大賞でグランプリを受賞するなどご当地特産品で成果をだしている。マルシェなどイベントを発表の場にするのはよいが、その前の開発や特産品の魅力づくりにまちづくり機構がかかわってけるとさらに良いと思う。 【質問】 ・地元生産者との連携強化は具体的にどの団体や地域などはあるか。	本酒「ゆざわ」の製造・販売を実現しました。この日本酒は12月20日から町内で販売され既に品薄状態。本来は春に出す予定だった第二弾を前倒しで販売準備を進めているとのこと。
5	資料1 7ページ	【高橋幸一委員】 「2-1 初めての人や子供、高齢者にやさしい安心安全なスノーリゾートづくり」 ・各スキー場の個別事業、具体的に教えてください。 ・まちづくり機構のデジタルサイネージの情報内容と費用を教えてください。	【湯沢町観光まちづくり機構】 〈令和6年度に行われた個別事業〉 ● エリア全体に関する事業 ・谷川岳パーキングエリアにおける情報発信 ● 施設の改修・整備や機器の導入に関する事業 ・施設内トイレ環境整備事業 ・リフト券自動発券機 新規・追加導入 ・キャッシュレス対応券売機増設 ・プレミアムスポーツショップ設置事業 ・リフト新設に伴う搬器及び握索機製造 ● リフト券のIC化に関する事業 ・IC自動ゲートの新設／増設 ・ICチケット自動発券・受取機（Skiosk）増設 ・共通サーバーの設置 ・ICカード自動受取機の屋外設置 〈デジタルサイネージの情報内容〉

			湯沢町及び南魚沼市内のスキー場情報（天候、気温、滑走状況、積雪量） 事業費 3,000 千円
6	資料 1 8 ページ	【南雲純子委員】 「2-2 回遊性の向上（ゲートシステムの導入と共通リフト券の導入等）」 【質問ではなく意見】 町内共通リフト券については、期待する声が多いと思うが非常に難しい課題を抱えていると思う。連携のもと事業を進めているとのことで素晴らしい。二次交通もわかりにくい、今年よりメンバーにはいられたインフルエンサーぬめめん氏とのコラボで Instagram による情報発信なども積極的になされていると感じる。今後、さらにインバウンドへの対応も必要かと思う。 私の家は湯沢駅から 300m のところだが、除雪をしている際「ガーラ行きのバス停はどこにあるのか？」と外国人に尋ねられた（別日に 3 組）。 「町全体でおもてなし」を掲げるのであれば、現地でも情報発信もポイントで、町民教育も大切だと感じた。	【湯沢町】 情報発信については、インフルエンサーを活用し、越後湯沢駅から各スキー場行きシャトルバス等の案内動画を作成しました。 【湯沢町観光まちづくり機構】 共通リフト券事業は「越後湯沢」エリア全体の魅力向上に直結すると考えており、引き続き、湯沢・南魚沼の各スキー場や各市町、新潟県等と連携しながら進めていきたいと考えています。 越後湯沢駅での情報発信については、デジタルサイネージに加え、看板類の設置などを実証事業として取り組んでいます。サイン類は日本語に加え、英語と繁体字も追記し、インバウンド対応を進めています。
7	資料 1 8 ページ	【京谷委員】 「2-2 回遊性の向上（ゲートシステムの導入と共通リフト券の導入等）」 共通リフト券の導入に関しては、効果は出ている事と思うが、昨今のリフト券代値上がり、一方での国内スキー、スノーボード人口の減少の流れの中で考えると、インバウンド客と国内訪問者との間でリフト券価格を二重設定する事も考えた方が良くのではないかと。例えば、ハワイにお	【湯沢町観光まちづくり機構】 共通リフト券については、主に国内向けにはシーズン前の限定早割リフト券を設定し、需要の掘り起こしをはかっているところ。一方、海外向けには 12 月以降、海外 OTA 複数社のサイトにて上記価格より高い料金設定で、リフト券の販売を行っております。 現地でのリフト券価格の二重設定については各スキー場にもご意見をいただいているとして投げ掛けをしてみたいと思いま

		ける「カマイナ」(ハワイ州住人は、観光客、本土よりの来訪者より安い料金でゴルフ場他のアクティビティを安価に利用できる)等の制度を参考にされたら如何か？	す。
8	資料1 8ページ	【京谷委員】 昨シーズンより湯沢駅西口近辺に明らかにインバウンド客(中国人)を対象にしたスキースクール、スキーレンタル店が開業して多くの方が利用されている様ですが、その影響で、西口の温泉通りにおいては、我が者顔で車道を歩く人も多々おり、なんらかの対策を考えないと、今に事故が発生すると思われます。この点に関して、町としての対策は？	【湯沢町】 温泉通りの路上駐車対策につきまして、以前に湯沢温泉通り歩行景観整備事業推進委員会で、車道と歩行空間の境に照明灯を建てることができないか議論されたことがあります。 道路管理者である新潟県からは、様々な議論を経て現在の形になっており、歩行空間の車道側へ構造物を設置することはできないと伺っております。 地元、道路管理者である地域振興局、六日町警察などと協議を行い、協力し取組を進めて参りたいと考えております。
9	資料1 9ページ	【南雲純子委員】 <u>「2-3 スキーをしない人も楽しめるコンテンツ・空間づくり」</u> 実施時期の途中ではあるが、観光事業者が主導的に実施とあるだけで進捗が見えない。実際に各事業者では動きがあるので、表記頂くとよいと思う。	【湯沢町】 今後、可能な限り事業者の取組について共有させていただきます。
10	資料1 9ページ	【京谷委員】 <u>「2-3 スキーをしない人も楽しめるコンテンツ・空間づくり」</u> 一部のスキー場では、スノーシューツアー、バギーナイトクルーズ、スノーモビル体験等は既に行われているのは、承知していますが、非スキー客に対して、これらアクティビティの更なる周知、また、それらのアクティビティを実施していない施設においても、必要に応じて導入を検討したら如何か？	【湯沢町観光まちづくり機構】 スノーリゾート形成計画において「スノーエントリー層に世界一やさしい」をコンセプトに掲げ、観光庁補助事業において各スキー場のコンテンツ造成の支援を進めているところです。 周知につきましては、スノーアクティビティの情報を集約のうえ、ホームページ等を活用しながら、取組を強化できたらと考えます。

11	資料 1 12 ページ	【京谷委員】 <u>「3-2 施設の適切な維持管理と開発コントロール」</u> 空き家バンクにおいては、需要＞供給が少ないとの記述を拝見しましたが、その一方で、土樽地区、苗場地区では多くの空き家マンションが存在している事も事実だと思います。また、各管理組合は、その件で頭を悩ましています。町として、これらの空きリゾートマンション対策に関して、何かお考えはありますか？	【湯沢町】 現在の空き家バンクではマンションを対象外とさせていただいております。直接的な空き物件対策ということではありませんが、マンション管理士会などが主催するマンション管理に関するセミナーを県と連携しながら支援し、マンションの価値が高まるようなマンション管理適正化計画の認定などを促していくこととしております。
12	資料 1 12 ページ	【後藤委員】 <u>「3-2 施設の適切な維持管理と開発コントロール」</u> 空き家バンクの登録について、「供給＜需要の状況」の要因は何か？また、需要が多い要因は何か？移住需要か、別荘需要か？	【湯沢町】 空き家バンクの利用申込者は9割が町外の方であり、登録時の希望を見る限りでは、自らが住む場所として申込されている方が多いように思われます。
13	資料 1 13 ページ	【南雲純子委員】 <u>「3-3 歩きたくなる街並みと滞在したくなる空間の整備」</u> 【補足】 ・令和6年度にやったこと 東口活性化のための町民団体（YuzawaEastClub）では定期的な会議と地藏堂盆祭り（餅まきや外国人の子どもにもはっぴを着せての盆踊り）やM'sCafe2階店舗の有効活用（チャレンジショップ）、昨年に引き続きイルミネーションの点灯で東口を明るくするなどの動きがみられた。	【湯沢町】 補足ありがとうございます。
14	資料 1 19 ページ	【高橋幸一委員】 <u>「4-4Wi-Fi 整備、キャッシュレス決済等の推進」</u> 地域通貨導入のメリットは？	【湯沢町】 ふるさと納税の御礼の品でお贈りしている「ありがとう湯沢」応援感謝券（現状は紙ベースのみ）をデジタル化することを検討しています。デジタル化することにより、寄付者はすぐに利用が可能となること、取扱店舗は役場に来ることなく精算手続

			きが可能なこと、町は券の送付、支払い事務等を省力化できることなどのメリットが挙げられます。
15	資料 1 21、22 ページ	【後藤委員】 観光客が出すゴミ（資源）の課題はないか？ゴミ（資源）回収や焼却に関わる金銭的・人的負担など、インフラへの負担などはどのような状況か。	【湯沢町】 湯沢町から排出される廃棄物は、いわゆる「観光ごみ」が含まれることから同規模自治体と比較すると処理費用の負担が大きいと言えます。また、湯沢町は廃棄物処理を南魚沼市に事務委託しており、可燃ごみ処理施設で多くの廃棄物を焼却すると施設に負荷がかかり、長寿命化や更新に莫大な費用負担をしています。 違反ごみについては、自治体によってごみの分別ルールが違うことも理由の一つと考えられますが、観光客に限らず湯沢町で廃棄物を排出する全ての人に対して、分別ルールを周知できるかが課題です。
16	資料 1 23 ページ	【高橋幸一委員】 <u>「5-2 地域内外が一体となって取組める自然環境保全の仕組みづくり」</u> 湯沢自然環境保全基金はどのくらいの収入があるのか？	【湯沢町観光まちづくり機構】 令和 5 年度は 129,319 円の収入があり、整備等に活用しました。収入額は毎年増加傾向にあります。
17	資料 1 26 ページ	【南雲純子委員】 <u>「6-3 農業、製造業、商業等を含めた湯沢町の観光にかかわるすべての人の連携体制の強化」</u> 【意見】 ・タイトルにいうようなすべての事業者との連携体制の強化であれば、商工会や金融機関との連携は必須になると思う。 ・DMO に入られた優秀な外部人材（地域活性化起業人等や企業からの人材）に対し、しっかりと活躍できる場と動か	【湯沢町観光まちづくり機構】 商工会との連携については、役員レベル、事務局レベルともに普段からコミュニケーションを取り合っています。また、イベント実施の際は、実行委員会への参加や当日スタッフの連携などを図っています。金融機関とは、国県等の補助事業に関して意見交換や情報共有をさせていただいているところですが、より関係を深めていきたいと考えています。 現在、地域活性化起業人に事務局に来ていただき、インナープロモーション、情報発信、マーケティングの分野を中心に業

		せる権限と予算、応援できる組織づくりをお願いしたい。	務に携わっていただいています。活躍していただけるよう柔軟に対応していきます。
18	資料 1 27 ページ	【南雲純子委員】 <u>「6-4 人材確保・人材育成の仕組みづくり」</u> 戦略の基本方針や仕組みづくりの項目を読むと、湯沢町全体の観光産業について言及しているように見えるが、やること・やったこと・評価などについては、DMO に関しての内容に見える。ここでいう観光産業の構造改革生産性向上と評価軸がずれている。 DMO として、湯沢の観光産業をどうしたいのか、DMO の内部組織をどうするのか、こちらをしっかりと決めることが重要に思う。	【湯沢町】 令和 7 年度から、観光庁が策定した「観光人材育成プログラム」に基づく「観光地経営人材」（主に DMO 向け）と「観光産業人材」（主に事業者向け）の育成に取り組みます。プログラム受講費用等を支援します。 【湯沢町観光まちづくり機構】 令和 7 年度事業計画において、職員のスキルアップを取組事業としてあげています。また、DMO については現在進行形で、国全体としても見直しが図られています。その見直しと歩調を合わせたなかで、湯沢の DMO としてのやるべきことを明確にし、その実現のためのビジョンや組織体制を見直していくこととしたいと考えています。
19	資料 1 27 ページ	【後藤委員】 <u>「6-4 人材確保・人材育成の仕組みづくり」</u> 外国人も含めた人材の定着や人手不足対策はどのような状況か。また、外国人の人材が増えることでの地元民との軋轢等の状況はどうか	【湯沢町】 外国人の住民登録の状況 令和 7 年 1 月末現在 782 人 令和 6 年 1 月末現在 514 人 ゆざわマッチボックスの採用状況 令和 7 年 1 月 717 件（過去最高を記録） 令和 6 年 1 月 444 件 現在は、町民と外国人の軋轢につきましては一部の地域でゴミの出し方などでトラブルがあると聞いていますが、それ以外は顕在化している状況にありません。しかし、その他のことに

			についても潜在的な可能性は否定できません。このため、令和7年度からスタートする「第三次総合戦略」において「外国人労働者受入態勢の整備」として、町民と外国人の双方が安心して生活できる環境の整備を取組として掲げています。
20	その他	【高橋幸一委員】 スノーモビルや陶芸工房「旭窯」も交通機関の充実を含め、アピールしていただけるとありがたいです	【湯沢町】 駅からの二次交通は町の大きな課題であり、町の交通計画に沿った再編を進めているところですが、バス運転手の不足が計画の進捗の妨げになっています。 【湯沢町観光まちづくり機構】 駅東口でのバス案内では、湯沢いちご村へのアクセス方法を聞かれます。それらはSNS等で湯沢いちご村を知るようです。スノーモビルや旭窯についても、SNSを使ったPRを検討してまいります。
21	全体的感想	【南雲純子委員】 外国人観光客が過去最高といわれる中、インバウンドへの対応についての取り組みが全体的に薄いように感じる。観光庁の国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業にエントリーし、進めていることから動きはあるかもしれないが、こういう場での対応の共有を行ってもよいと思う。 ・情報発信 ・外国人（観光客・住民向け）緊急時対応 ・外国人による移住定住・民泊・レンタル・スクール事業など ・飲食店・宿泊施設は各自対応しているものの、行政やDMOで補える部分はあるか。 湯沢町役場やDMOのみなさまには人員が少ない中、非常	【湯沢町】 令和7年度からスタートする「第三次総合戦略」において「外国人労働者受入態勢の整備」として、町民と外国人の双方が安心して生活できる環境の整備を取組として掲げています。 情報発信については、越後湯沢駅から各スキー場行きシャトルバス等の案内動画を英語版で作成し、湯沢町観光まちづくり機構のSNSで発信しました。 【湯沢町観光まちづくり機構】 インバウンドの増加と合わせて、町内における外国人事業者も増加しており、昨年12月に外国人事業者と現状等に関する意見交換を実施しました。今後、外国人事業者部会としての組織化を進めたいと考えています。事業者の各自対応の部分につ

		に多くの業務を効率的に行っていただき、また順調に進んでいるものも多く素晴らしいと思います。今回は会議に出席できないため、重箱の隅をつつくような細かいことも申し上げておりますがご容赦ください。 ご盛会お祈りいたします。	いては、インバウンド受入環境整備の観点から対応に係る支援策を検討しています。
22	P6 & P7 & P8	【京谷委員】 広報「ゆざわ」でも公表されている通り、コロナ災禍の後、インバウンド客の戻りは大きな流れとなっており、これに対して、町として各施設としての人的、物的対応はどの様に考えているのか？ 特に、苗場スキー場においては、インバウンド客（台湾、香港、タイ）の増加は肌感覚でも昨年よりも顕著に多いと感じている。これらの対応を考えて、町としての考えをお伺いしたい。	【湯沢町】 民間事業者におけるインバウンド対応は基本的には民間事業者自らが対応すべきと考えます。他方、二次交通などは現状では対応しきれていないので、町の交通計画に沿った再編を進めているところです。
23	資料2 KPI	【南雲純子委員】 湯沢町の若者の定住以降 2020年 42, 7%に対し、2031年 70%と非常に高い目標値だが、根拠やマイルストーンなどから達成を見いだせる数値なのか。	【湯沢町】 該当項目は湯沢町総合計画からの準用であり、湯沢町総合計画審議会において話し合われ、決定したものです。アンケートに基づく現状値 42.7%に対し、目標を高くもって取組を推進するために70%に設定したと聞いております。